

各 位

2019年11月5日
SBIホールディングス株式会社
SBI PayKey Asia 株式会社

スマホキーボード上で金融サービスを提供する「^{ペイキー}PayKey」を
アジアに展開する新会社「SBI PayKey Asia 株式会社」の設立について

SBIホールディングス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：北尾 吉孝）は Decentralized Mobile Applications Ltd.（本社：イスラエル・テルアビブ、以下「PayKey 社」）との間で、あらゆるメディアのアプリケーションから金融サービスをシームレスに提供するソーシャルバンキングソリューション「PayKey」の販売と導入支援を行う合弁会社「SBI PayKey Asia 株式会社」（本社：東京都港区、代表取締役社長兼 CEO：小枝 逸人、以下「SBI PayKey Asia」）を新たに設立いたしましたので、お知らせいたします。

「PayKey」はメッセージサービスのプラットフォーム上でシームレスに金融機能を提供する世界唯一のサービスであり、各金融機関は「PayKey」を導入することで、今やコミュニケーションの中核である各種のメッセージサービス上でアプリケーションの送金機能を簡易に提供できるようになります。既に世界では 20 社の金融機関が導入しており、今後も各国における新たな金融機関での導入と事業の更なる拡大が見込まれており、日本国内においても既に複数社で導入が検討されています。

顧客となる金融機関は、「PayKey」を導入することで各種金融サービスを日常のチャットの中でユーザーに提供することができます。既存のモバイルバンキングアプリに不便さを感じるミレニアル世代のユーザーエクスペリエンス向上を促し、各金融機関のデジタルトランスフォーメーションを更に加速いたします。今後、SBI PayKey Asiaでは、SBIグループ各社および大手システムベンダーと協力の上、国内の金融機関や事業会社向けに「PayKey」の導入を推進して行き、日本国内でのマーケティングを足掛かりにアジア全域での展開を加速させていく予定です。

SBIホールディングス代表取締役社長 北尾吉孝は次のように述べています。

「「PayKey」は、SNS上におけるメッセージのやり取りと同感覚での送金を可能にするアプリケーションであり、導入した金融機関のサービス向上や若年層の顧客獲得に繋がるサービスであると考えています。新たなフィンテックサービスの利便性を、「PayKey」を通じて体感してもらうことで、自然発生的にネオバンク化への時流・ニーズを生み出していくサービスとして成熟していくことを期待しております。」

SBI PayKey Asia 代表取締役社長兼CEO 小枝逸人は次のように述べています。

「日本を含むアジア諸国のバンキングアプリは普及率がまだまだ低く、世界的に見ても遅れを取っ

ております。「PayKey」というユニークかつ様々な国での実績のあるサービスと提携することで、日本やアジアにおける消費者の方々にもストレスフリーなバンキング機能をお届けし、バンキングアプリの普及率を高めることができると確信しています。」

PayKey社 COO Omer Pazからもコメントが寄せられています。

「日本のリーディングカンパニーであるSBIホールディングスと合弁会社を設立できること、大変喜ばしく思います。また、アジア圏での事業拡大への足掛かりとも言える日本への進出を私も楽しみにしており、SNSやアプリケーションのトレンドに敏感な日本でも受け入れられるサービスを提供できると自負しております。」

【合弁会社の概要】

商号	SBI PayKey Asia 株式会社
本社所在地	東京都港区六本木 1-6-1 泉ガーデンタワー
代表者	代表取締役社長兼 CEO 小枝 逸人
事業内容	日本およびアジア圏における「PayKey」ソリューションの販売・導入
設立日	2019年10月1日
株主および持株比率	SBI ネオファイナンシャルサービシーズ株式会社（*1） 70% Decentralized Mobile Applications Ltd.（*2） 30%

（*1）SBI ホールディングス株式会社の100%子会社で、これまでSBIグループが培った豊富なオンライン金融の経験をもとに、最新技術を有する海外企業との合弁会社設立などを通じて、国内外の最新技術・サービスをローカライズして提供しております。

（*2）SBI ホールディングスの100%子会社でベンチャーキャピタルファンドの運用・管理を行うSBI インベストメント株式会社（本社：東京都港区、代表取締役執行役員社長：川島 克哉）が運営する「Fintech ファンド」を通じて、PayKey社に出資しています。

【PayKey社について】

イスラエルのテルアビブに拠点を置くPayKey社は、銀行やモバイルウォレットが、すべてのソーシャルアプリやメッセージングアプリを含む各種モバイルアプリ内のP2P決済、残高照会、口座履歴など、様々なサービスに即座にアクセスできるようにしています。特許取得済のソーシャルバンキングソリューションは、常にストレスフリーな体験を提供することにより顧客とユーザーのエンゲージメントを高めます。

PayKey社のソリューションは、最先端のスマートフォンキーボードをベースに、キーボード上のアイコンをタップするだけで顧客が選定した金融サービスを届け、ユーザーがスマートフォンでキーボードを開いていれば常に金融サービスが利用できるという世界で唯一の技術である。

PayKey社は既に、INGグループ、Standard Chartered銀行、HSBC UKなどの世界でも知名度の高い企業など、20社以上の金融機関にサービスを提供しています。詳細は<https://paykey.com>をご覧ください。

～世界各国の金融機関で提供されている PayKey キーボード例～



左から Davivienda 銀行(コロンビア)、ING グループ(ポーランド)、PhonePe(インド)、Standard Chartered 銀行(香港)

以上

本プレスリリースに関するお問い合わせ先：

SBI ホールディングス株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 03-6229-0126

製品に関するお問い合わせ先：

SBI PayKey Asia 株式会社 営業本部

TEL : 03-6229-1164 Mail : info-pka@sbigroup.co.jp